

安心・安全な毎日のために

庄原消防署 ☎0824・72・9911
東城消防署 ☎08477・2・4005

春季全国火災予防運動が始まります
(3月1日(金)～7日(木))

庄原市では毎年、農繁期が始まる3月・4月に、たき火が原因となる火災が集中して発生しています。

春先は空気が乾燥し、風も強くなるため、いったん火災が発生すると広範囲に燃え広がるおそれがあります。火災を起こさないために次のことに注意しましょう。

火災予防のポイント

- 火を付けたら完全に消えるまで目を離さず、その場を離れない。
- 水バケツなどの消火用具を必ず準備する。
- 空気が乾燥しているときや風の強い日には屋外で火を使用しない。



2023年度全国統一防火標語
「火を消して

不安を消して
つなぐ未来」

林野火災を防ぎましょう

「春季全国火災予防運動」と併せて「全国山火事予防運動」が実施されます。

山火事は、いったん発生するとその消火は困難で、一瞬にして貴重な森林を焼失し、緑や水資源などの自然環境、さらには地球温暖化にも大きな影響を及ぼします。

「林野火災防止のための注意点」

- 枯れ草などのある場所では、たき火をしないこと
- たき火など火気の使用中は、その場を離れず、使用後は完全に消火すること
- 強風および乾燥時には、たき火や火入れをしないこと
- 火入れなど火災とまぎらわしい煙が発生するおそれがある場合は、事前に最寄りの消防署へ届け出をすること
- たばこは指定された場所で喫煙し、吸いながら必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- 火遊びはしない、させないこと

2024年全国山火事

予防運動統一防火標語

「忘れない、

山の恵みと
火の始末」

Camera Report

カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。 行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



野球しようぜ！

市内の小学校全校にも大谷グローブ届く・1/9

アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷翔平選手が、全国の小学校などにグローブをプレゼントし、本市の小学校にもグローブが届きました。

これは大谷選手が「子どもたちが野球というスポーツに触れ、興味を持つきっかけになってほしい」との思いを込めて企画したものです。

プレゼントされたグローブは、右利き用が2つと、左利き用の1つがセットになったもので、大谷選手からの「野球しようぜ！」というメッセージが添えられています。

高野小学校では児童への贈呈式が行われ、グローブを受け取った児童は「テレビで見て知っていたけど、本当に届いたので感激した」とうれしそうに話しました。



▲高野小学校で行われた贈呈式



▲プレゼントされたグローブ



▲キャッチボールをする東小学校の児童



新年に向けて

しめ縄づくり・12/9

No.7

比和自治振興センターで「しめ縄づくり」が開催され、地域住民 13 人が参加しました。

これは比和自治振興区が主催したもので、毎年、地域行事でしめ縄づくりをされている白幡憲社さんを講師に迎え開催されました。

参加者は、用意された稲ワラを使って縄をない、飾りつけや細やかな作業を講師に聞きながら、和やかな雰囲気で作っていました。

参加者は「ワラのいい香りを嗅ぎながら自分の作ったしめ縄で新年を迎えられるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



▲稲ワラで縄をなう参加者

良い年になりますように

門松としめ縄を寄贈・12/22

No.6

庄原市シルバー人材センターしめ縄・門松同好会の会員の皆さんが作成した門松としめ飾りが、市役所本庁舎の正面玄関に設置されました。

当日は雪が降る寒い中での作業でしたが、熟練の技により、松や南天、ハポタンが飾り付けられ、高さ約2メートルの門松が完成しました。

この門松やしめ縄の材料はすべて市内のもので、調達から加工まで会員の皆さんの手によって行われています。

会員の皆さんは「ことしも門松を作成することができた。令和6年が庄原市にとって、良い年になることを願っている」と話しました。



▲しめ縄・門松同好会の皆さん

最新のスポーツを体験

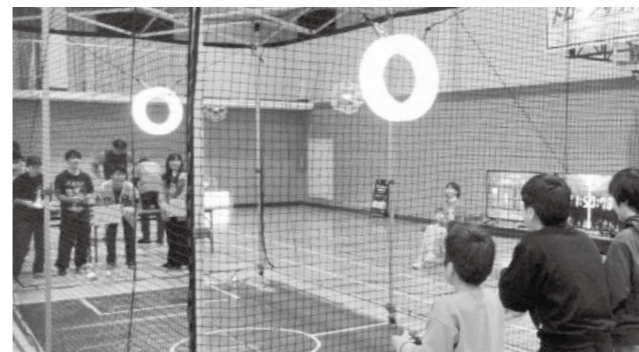
ドローンサッカー体験会・12/16

No.3

西城自治振興区が、地域の活性化を目的に、西城体育館でドローンサッカー体験会を開催し、西城紫水高校の生徒や地域住民など、約 50 人が参加しました。

この競技は韓国発祥のスポーツで、ボール状の枠で覆われた小型のドローンを操縦し、空中に設置されている相手側のゴールをくぐらせて得点を競う、最新戦略型のスポーツです。

当日はインストラクターにドローンの操作方法を教わり、チームに分かれて対戦が行われました。参加者は「攻めるより守る方が難しかった。またやりたい」「操作が難しかったけどとても楽しかった」と話しました。



▲ドローンサッカーの試合

箏と尺八のハーモニー

芙蓉会創始 100 周年記念 箏曲演奏会・11/26

No.2

庄原市民会館で、箏曲演奏グループ「芙蓉会」の創始 100 周年記念演奏会が開催され、約 500 人が集まりました。

当日は同会をはじめ、作曲演奏家の菊重精峰さんと尺八演奏家の川崎貴久さん、市内の尺八団体メンバーが出演しました。菊重さんが庄原市合併を記念して作曲した「備北賛歌」や古典曲、映画・アニメの主題歌など全 11 曲が演奏され、参加者は箏と尺八の繊細で表現力豊かな音色に聴き入っていました。

同会の三代目会長である竹原夕起子さんは「演奏する側も聴く側も楽しめるように心掛けてきた。これからもみんなが楽しめる演奏を続けたい」と話しました。



▲芙蓉会の演奏

伝統文化を伝える行事

卒業証書に使う和紙を紙すきで作製・12/11

No.9

総領高齢者能力活用センター「ハートリンクス」で、紙すきが行われ、総領中 3 年生の 10 人が参加しました。

総領町の田総地域では、昭和 30 年頃まで伝統的な製法での手すきの和紙の生産が行われており、現在でもその製法は地域の人に受け継がれています。

同校では、総領地域の和紙作り文化を学ぶため、毎年 3 年生が卒業証書に使う和紙を紙すきで作る伝統が 30 年以上続いています。

当日は、総領町紙すき研究会の皆さんの指導を受けながら材料となるコウゾやミツマタを町内で採取し、叩いて繊維をほぐすなどの工程を経て、手すき作業に取り組み、和紙を作製していました。



▲紙すきをする総領中の生徒

「メタバース」で人材を確保

最新技術で企業を紹介・12/1

No.8

商工団体と市内企業などをつくる「庄原でいきいき働く協議会」が、インターネット上の仮想空間「メタバース」を活用して企業を紹介する、新たな取り組みを開始しました。

これは、企業情報などを新しい形で発信したいという思いから企画されたもので、メタバース内には、毎年市内で開催している就職ガイダンスの会場が再現されています。市内外 75 社の企業ブースが設置され、就職希望者は自身の分身であるアバターを使い、企業の情報や職員の募集状況などが容易に確認できるつくりになっています。

同協議会では、今後も手軽に市内企業を知ってもらえる取り組みを進める予定です。



▲仮想空間「メタバース」内に再現された会場

幻想的な光でまちを照らす

東城まちなみイルミネーション・12/21～1/9

No.5

夢街道ルネサンス認定「街道東城路（東城市街地）」で「東城まちなみイルミネーション」が開催されました。これは東城高 1 年生の生徒が総合的な学習の一環で実施したもので、関係団体や地域住民と協力し、街道沿いの各施設にイルミネーションとあんどんを設置しました。

あんどんには、本市出身の書家坂口赤道さんの指導のもと、東城町の名産品などの平仮名を組み合わせた「からくり文字」が書かれており、生徒が作った作品が市街地を温かい光で照らしました。

来場者は「イルミネーションがとてもきれいだった」「からくり文字を初めて見た。とてもおもしろい」と話し、幻想的な街道の景色を楽しんでいました。



▲イルミネーションと東城高校 1 年生の皆さん

高駅ににぎわいを

「顔はめパネル」お披露目セレモニー・12/15

No.4

JR芸備線の利用促進に向けた取り組みの一環として「顔はめパネル」が作成され、高駅でお披露目セレモニーが行われました。これは芸備線・木次線利用促進協議会の庄原地域チームである高自治振興区が企画し、高小学校の児童とともに作成したものです。

セレモニーでは、高小学校の児童によるリコーダー演奏会やけん玉の披露などさまざまなイベントが行われ、地域の人でにぎわいました。

企画した高自治振興区の岡野茂区長は「高駅を拠点に、地域の交流が深まるような取り組みを進めていきたい」と話しました。

待合室にはパネルのほか、児童が描いた絵も展示されています。ぜひお立ち寄りください。



▲顔はめパネルで記念撮影